

SONY®

ネットワーク サーベイランス レコーダー

リリースノート

ソフトウェアバージョン 1.1.1

NSR-S10

第1版（最終修正日 2011 年 1 月 31 日）

© 2010 Sony Corporation

著作権について

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび本書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねます。万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り換えいたします。それ以外の責はご容赦ください。このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

Microsoft、Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel および Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

また、その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

なお、本書中で®、™マークは明記しておりません。

目次

1	NSR-S10 の特長	1
1-1	V1.1.1 で追加された機能.....	1
1-2	WebViewerおよびNSR-S Viewerの対応プラットフォーム.....	1
1-2-1	サポートOS	1
1-2-2	システム要件	1
1-3	外部ストレージの推奨機種.....	2
1-4	サポートカメラ情報.....	3
2	重要事項.....	5
2-1	設定画面.....	5
2-2	メイン画面：LIVE	6
2-3	メイン画面：PLAYBACK	6
2-4	NSR-S Viewer	6
2-5	WebViewer	7
3	注意事項.....	8
3-1	設定画面.....	8
3-2	メイン画面：LIVE	10
3-3	メイン画面：PLAYBACK	10
3-4	NSR-S Viewer	11
3-5	WebViewer	11
3-6	その他	11
4	限定事項.....	12
4-1	V1.1.1 で修正された限定事項.....	12
4-2	既知の限定事項.....	12
4-2-1	設定画面	12
4-2-2	メイン画面：LIVE	12
4-2-3	メイン画面：PLAYBACK.....	12
4-2-4	WebViewer	13
4-2-5	その他.....	13
5	補足.....	14
5-1	NSR-S Viewerの操作方法	14
5-1-1	操作手順	14
5-1-2	画面の説明.....	14
5-1-3	WebViewerからの起動方法.....	16

6	主な機能追加履歴.....	17
6-1	V1.1.0 で追加された機能.....	17
6-1-1	サポートカメラの拡充.....	17
6-1-2	リモートプレイバック機能.....	17
6-1-3	言語対応	17
6-1-4	外部ストレージの自動追加機能.....	17
6-1-5	アラームアクションによる外部ストレージのアンマウント機能.....	18
6-1-6	Snapshotのイメージサイズ	18
7	主な修正履歴.....	19
7-1	V1.1.0 で修正された限定事項.....	19

1 NSR-S10 の特長

最新の NSR-S10 のファームウェアは以下の URL からダウンロードしてください。

ファームウェアのアップデート方法は取扱説明書を参照してください。

Download URL: <http://www.sony.co.jp/Products/NSR/NSR-S.zip>

ファームウェアのバージョンは NSR-S.zip を展開して生成される Readme.txt を参照してください。

1-1 V1.1.1 で追加された機能

ファームウェアV1.1.1 で追加された機能はありません。「4-1 V1.1.1 で修正された限定事項」を参照してください。

1-2 WebViewerおよびNSR-S Viewerの対応プラットフォーム

1-2-1 サポートOS

NSR-S10 の WebViewer および NSR-S Viewer では、以下の OS で動作を確認しています。32bit 版、64bit 版の両方に対応しています。

Windows 7 Professional

Windows Vista Business Service Pack 2

Windows XP Professional Service Pack 3

ご注意

- WebViewer は、Internet Explorer7 と Internet Explorer 8 に対応しています。
ただし、64bit 版の Internet Explorer には対応していませんので、32bit 版の Internet Explorer をお使いください。

1-2-2 システム要件

1-2-2-1 CPU

Pentium4 3.0GHz 以上

1-2-2-2 ビデオカード

1024 × 768 ピクセル (32 ビットカラー) 以上

128MB ビデオメモリー、DirectDraw 対応

1-2-2-3 ネットワークインターフェース

100BASE-TX 以上

1-2-2-4 メモリー

1GB 以上

1-3 外部ストレージの推奨機種

SATA ストレージは以下の機種で動作を確認しています。

PROMISE TECHNOLOGY, INC. SmartStor DS4600

ご注意

- ・外部ストレージの記録容量は最大 2TB までサポートしています。

1-4 サポートカメラ情報

カメラ モデル	バージョン	記録 (初期設定値)				表示 (初期設定値)				動体検知									
		ビデオ サイズ	フレーム レート	ビット レート	ビデオ 形式	ビデオ サイズ	フレーム レート	ビット レート	ビデオ 形式										
SNC-CH140	v1.11 or higher	720p	10fps	2Mbps	H.264 *1	640x480				カメラ側									
SNC-DH140																			
SNC-DH140T																			
SNC-CH180																			
SNC-DH180																			
SNC-CH240	v1.11 or higher	Full-HD	10fps	3Mbps							640x480								
SNC-DH240																			
SNC-DH240T																			
SNC-CH280																			
SNC-DH280																			
SNC-CH120	v1.12 or higher	720p	10fps	2Mbps *5		640x480													
SNC-DH120																			
SNC-DH120T																			
SNC-CH160																			
SNC-DH160																			
SNC-CH220	v1.23 or higher	Full-HD	10fps	3Mbps *5	640x368														
SNC-DH220																			
SNC-DH220T																			
SNC-CH260																			
SNC-DH260																			
SNC-CH110	v1.27 or higher	720p	10fps	2Mbps *5		640x368													
SNC-DH110																			
SNC-DH110T																			
SNC-CH210	v1.27 or higher	Full-HD	10fps	3Mbps *5											640x368				
SNC-DH210																			
SNC-DH210T																			
SNT-EX101	v1.10 or higher *4	704x576	15fps:NTSC, 12fps:PAL	1Mbps	640x480						15fps:NTSC, 12fps:PAL			SNT 側					
SNT-EX101E																			
SNT-EP104																			
SNT-EX104																			
SNC-RZ50N	v2.43 or higher	704x480	15fps	1Mbps	MPEG-4 *2	記録設定と同じ *2				カメラ側									
SNC-RZ50P	v2.43 or higher	704x576	12fps																
SNC-RZ25N	v1.30 or higher	640x480	15fps	1Mbps	MPEG-4 *3	記録設定と同じ				カメラ側									
SNC-RZ25P																			

ご注意

カメラの設定やご使用に関する注意事項を以下に記載します。他の制限や注意事項に関しては、カメラの取扱説明書やリリースノートをご参照ください。

- ・ カメラのビデオサイズやビデオ形式など、カメラ内部に設定される値を変更する場合は、**NSR-S10** から行ってください。**Web Browser** で直接カメラ側のビデオ設定を変更した場合の動作は保証しておりません。(S10:10)
- ・ 音声に対応したカメラでは常に音声のストリームを取得しています。ただし、音声有効がチェックされていない場合は記録は行いません。(S10:61)

*1 これらの機種との接続では、記録の設定をしていなくても、**NSR-S10** は記録用の映像を常に取得しています。カメラのモニタリングのみを行う場合、ネットワーク帯域の計算には記録映像のビットレートも計算に入れてください。(S10:55)

*2 **SNC-RZ50** に対する記録と表示は同じ設定値のみ使用可能です。また、ビデオ形式で **H.264** を選択すると動体検知が使用できませんので、**JPEG** または **MPEG4** のいずれかを使用されることを推奨します。(S10:32)

*3 **SNC-RZ25** のビデオ形式で **MJPEG** を選択すると動体検知が使用できませんので、**MPEG4** を使用されることを推奨します。なお、**MPEG4** で解像度を **VGA** に設定した場合にはフレームレートは **15fps** までしか出ません。

*4 **SNT-EX/EP** シリーズの **v1.20** には対応しておりません。(S10:111)

*5 これらの機種では、記録のビデオ形式で **MJPEG** を選択した場合、ビデオの品質は **5** で固定となります。

2 重要事項

2-1 設定画面

- ・ アラームの設定について

NSR-S10 では、HDD の故障を検知すると、画面上に「ディスクの録画スペース不足!」のエラーメッセージが出ます。このエラーに同期して警報音(ビープ音)を出すには以下のよう
にアラームの設定を行ってください。

「アラーム設定」画面でアラームを追加して、"異常イベント"の"ハードディスクエラー"をトリガーにして、アクションで"警報音を出す"を選択する。(S10:87)

- ・ 記録スケジュールの設定について

NSR-S10 では [Recording] の設定画面で、"常時記録"、"動体検知記録"、"記録しない"という三種類の録画モードの設定を行うことができます。「録画設定」画面では単一の録画モードを選択できます。ここで [詳細] ボタンをクリックすると、三種類の録画モードを組み合わせて週間のスケジュールを設定することができます。例えば平日昼間は"常時記録"、夜間は"動体検知記録"、週末は"記録しない"といった設定をすることも可能です。

ここでの録画設定を有効にするには、LIVE 画面で [Record] ボタンをクリックするか、「システム設定」画面で"システム起動時に自動録画します"をチェックします。

また、特定の日時や期間だけ録画を行わない設定、再起動やアラームを無効とする設定を行うことも可能です。「録画設定」画面の [スケジュール] ボタンをクリックしてスケジュール設定を行ってください。「スケジュール設定」で"録画"期間を設定すると、「録画設定」で設定した録画モードに応じた記録をいつ行うかが設定できます。(S10:15,130)

- ・ アラーム記録について

NSR-S10 ではカメラ単体の"動体検知記録"だけではなく、他のカメラの動体検知やセンサー入力など、条件を組み合わせた記録を行うことも可能です。その場合には、「録画設定」では"記録しない"を選択し、「アラーム設定」のアクションでアラーム記録を設定してください。(S10:85)

- ・ 「アラーム設定」画面の [録画を停止し、ドライブをアンマウントする] のアクションは、ハードディスク内蔵モデルではお使いになれません。

- ・ 動体検知記録やアラームをトリガーにした記録において、動体検知やトリガーが発生する前の映像の記録を行えますが、NSR-S10 のメモリーのバッファ量の制限により、動体検知 / トリガー発生前の記録は最大で 1fps (1 秒に 1 フレーム) の記録となります。(S10:86)
また、動体検知やトリガーが発生する前の記録期間は設定画面で 10 秒まで設定が可能となっていますが、記録される最大の時間はカメラの解像度やビットレートの設定により異なります。以下の記録時間を目安にしてください。

1920x1080/3072kbps の場合 : 2~3 秒

1280x720 /2048kbps の場合 : 4~5 秒

640x480 /1024kbps の場合 : 8~10 秒

2-2 メイン画面 : LIVE

- ・ アラームの解除について

アラームの警報音は LIVE 画面で [Alarm] ボタンをクリックし、「Alarm Status」画面の [Reset] ボタンをクリックすることで解除できます。ただし、HDD の故障など、アラームのトリガーとなる要因が継続している場合は、[Reset] しても 1 分経過すると再度アラームが発報されます。警報音が繰り返し鳴らないようにするには、「アラーム設定」画面で "警報音を出す" の選択を外してください。

アラームで E メール送信を選択している場合も、トリガーとなる要因が解除されるまで 1 分に 1 通ずつメールが送信されます。メールの送信を止めるには、アラーム設定画面で "E メール送信" の 9078 択を外してください。(S10:87)

2-3 メイン画面 : PLAYBACK

- ・ NSR-S10 では停電等により、画面からの電源オフではなく急な電源遮断が行われた場合には、その電源遮断が行われた時刻を含む時間帯 (00 分から 59 分) の映像が再生できなくなる可能性があります。ただし、本体で再生ができなくなったデータでも、外部に取り出すと NSR-S Viewer で再生が可能な場合もありますので、再生が必要な場合には、PLAYBACK 画面の Backup でその時間帯のファイルを取り出して、NSR-S Viewer で確認をしてみてください。(S10:57)

2-4 NSR-S Viewer

- ・ PLAYBACK 画面から [Backup] や [Output Video Clip] によって外部の USB フラッシュメモリーに取りだした記録画像ファイルは、一緒にエクスポートされる NSR-S Viewer を用いて再生することが可能です。メモリー上にエクスポートされた Backup フォルダの中の "NSR-S Viewer_launcher.exe" から起動してください。

NSR-S Viewer の使用方法は、5-1 NSR-S Viewer の操作方法を参照してください。

- NSR-S Viewer の [Output Video Clip] で AVI ファイルを作成する際、以下のエラーメッセージが出て処理が終了することがあります。

"File exporting failed !!!"

この場合は、NSR-S Viewer を一度管理者権限で起動してから、[Output Video Clip] で AVI ファイルを作成してください。管理者権限で起動することで、AVI ファイルの作成に必要なコーデックが自動的にインストールされます。AVI ファイルの作成に成功すると、コーデックのインストールは完了していますので、次からは管理者権限で起動する必要はありません。(S10:129)

Windows XP では管理者権限のあるユーザーで Windows にログオンし、一度 NSR-S Viewer の [Output Video Clip] を実行してください。

Windows Vista および Windows 7 で NSR-S Viewer を管理者権限で起動するには、アイコンを右クリックして [管理者として実行] を選択してください。

2-5 WebViewer

- WebViewer を実行するためには管理者権限が必要です。(S10:64)

Windows XP で WebViewer に接続する場合は、管理者権限のあるユーザーで Windows にログオンして Internet Explorer を実行してください。

Windows Vista および Windows 7 で WebViewer に接続する場合は、Internet Explorer の実行に管理者の権限が必要です。以下の方法で接続してください。

- ユーザーの UAC レベルを下げる

コントロールパネルのユーザーにおいて、以下を実施してから PC を再起動後、管理者権限のあるユーザーで Windows にログオンして Internet Explorer を起動します。

Windows Vista の場合:

[ユーザー アカウント制御の有効化または無効化] で無効化を選択

Windows 7 の場合:

[ユーザー アカウント制御設定の変更] でレベルを一番下にする

ご注意

Internet Explorer を管理者の権限なしに起動して NSR-S10 にアクセスすると、Internet Explorer が固まった状態になります。この場合、Internet Explorer を強制終了するか、PC を再起動してください。

また、管理者の権限なしに接続を行ったあとは、C ドライブの Program Files の下にある以下のフォルダを削除してから、管理者の権限で Internet Explorer を起動して NSR-S10 に接続してください。

C:\Program Files\remoteAP

3 注意事項

3-1 設定画面

- NSR-S10 の保存先 (Storage Path) には内蔵 HDD か、外付けの e-SATA のストレージのみ追加が可能です。誤って USB フラッシュメモリーを NSR-S10 でフォーマットした場合、フォーマット形式が異なりますので Windows などでは使用できなくなります。その場合は、ご利用される機器でフォーマットしなおす必要があります。詳しくは、その USB フラッシュメモリーの取扱説明書を確認してください。(S10:5)

- システム設定のコンフィグレーションのインポートを実行すると、NSR-S10 の構成情報が上書きされます。この際、インポートされるコンフィグレーションファイルに含まれていない構成情報は上書きされずに維持されます。例えば、

No.1=Camera A

No.2=なし

No.3=Camera C

No.4=なし

というコンフィグレーションファイルを、

No.1=Camera1

No.2=Camera2

No.3=Camera3

No.4=Camera4

という構成の NSR-S10 にインポートすると、以下の構成情報に上書きされます。

No.1=Camera A

No.2=Camera2

No.3=Camera C

No.4=Camera4

コンフィグレーションファイルがエクスポートされた NSR-S10 と同じ構成情報にしたい場合は、カメラとアラーム、admin/user 以外のユーザー情報をすべて消してからコンフィグレーションのインポートを行ってください。(S10:115)

- NSR-S10 の本体内蔵時計は時間の経過に伴って時刻がずれていきます。時刻の精度が必要な場合には、「ネットワーク設定」画面で NTP サーバーとの自動同期化を設定してください。(S10:40)

- SNC-RZ25/RZ50 との接続において、「録画」と「表示」は単一のビデオストリームを使用します。「カメラ設定」の「高度 IP カメラ設定」画面において、「表示」の内容が「録画」の設定内容と違う表示になることがあります。実際には「録画」と同じ形式で表示が行われます。(S10:30,46)
- SMTP の認証は AUTH LOGIN のみに対応しています。(S10:4)
- NSR-S10 には初期状態で admin と user の 2 つのユーザーが登録されています。NSR-S10 を起動すると自動的に admin でログインします。user を使う場合には admin でログインして、「ユーザー設定」で user を編集してパスワードの変更を行ってください。(S10:117)
- NSR-S10 は起動時に工場出荷設定のカメラを自動登録する機能があります。カメラを、自動登録ではなく「IP カメラ設定」から登録した場合、カメラの IP アドレスを工場出荷設定のまま登録すると、NSR-S10 は次の起動時に、そのカメラを再度、自動登録しようとするので、カメラの IP アドレスを以下の工場出荷設定から変更して、NSR-S10 に登録してください。(S10:43)

SNC-RZ25/RZ50 :	192.168.0.100
それ以外のカメラ :	DHCP
- カメラを自動登録ではなく「IP カメラ設定」画面から登録した場合は、「カメラ設定」画面において、「表示」と「音声有効」のチェックが外れています。カメラの映像をモニターする場合には「表示」にチェックを入れてください。音声をモニタリング/記録する場合には「音声有効」にチェックを入れてください。(S10:95)
- カメラを手動で登録した場合、カメラの映像設定がそのまま使用されることがあります。カメラを登録された後は、「カメラ設定」の「詳細」ボタンより「高度 IP カメラ設定」画面を開いて設定内容を確認してください。この画面で「デフォルト」ボタンをクリックし、「OK」をクリックすることで規定の設定値へ戻すことができます。(S10:144)
- アラーム設定画面におきまして、「センサー」の設定は、NSR-S10 本体のセンサー入力を設定します。カメラのセンサー入力を使用する場合には、「IP カメラセンサー」ボタンをクリックして、「カメラリスト」からカメラを選択してから、右側の「条件」画面でセンサーの高または低をクリックし、○印を付けてください。(S10:148)

3-2 メイン画面 : LIVE

- NSR-S10 では、SNC-RZ25/RZ50 といったパン・チルト・ズーム機能を持つカメラを LIVE 画面上でマウスやリモコンからコントロールすることができます。またマウスやリモコンでカメラを Preset 位置に向けることも可能です。

パン・チルトコントロールでは細かい制御はできません。あらかじめ Web Browser からカメラに接続し、Preset 位置を登録しておくことをお勧めします。(S10:63)

- イベント履歴からの再生について
ユーザーガイドの「記録画像を再生する」にて、「イベント履歴から再生する」の説明が LIVE 画面の [Alarm] ボタンからイベント履歴を表示すると書かれていますが、アラームの状態画面からは再生できません。(S10:123)

イベント履歴からの再生は以下の手順でお使いください。

- LIVE 画面の [Event Log] ボタンでイベントログを表示し、ログをダブルクリックして再生する。
- PLAYBACK 画面の [Event Search] ボタンでイベントを検索する。
 - "Output Event List"をチェックして検索し、イベント履歴の一覧をクリックして再生する。
 - "Output Event List"のチェックを外して検索し、[Next Event] で任意のイベント発生時刻を選択後、再生ボタンをクリックして再生する
- PLAYBACK 画面の [Event Log] ボタンでイベントログを表示し、ログから再生する。

3-3 メイン画面 : PLAYBACK

- [Next Event] は、「Event Search」でイベント履歴を検索した後に有効となります。(S10:54)

「Event Search」には、イベント履歴を一覧表示して一覧から再生する方法と、[Next Event] で検索結果を順に再生する方法の二種類の方法があります。

- イベント履歴を一覧表示するには「Event Search」の「イベント検索設定」において、"イベントリストを出力します"にチェックを入れてください。
- [Next Event] で検索結果を順に再生する場合は"イベントリストを出力します"のチェックを外してください。

ご注意

同じ時間帯 (例: 10:00~10:59 の一時間の間) に複数のイベントがある場合、[Next Event] をクリックして時刻表示がイベントの時刻に移動しても画面の表示はその時間帯の先頭のイベントの静止画のままとすることがあります。

再生ボタンをクリックすると、時刻表示された位置のイベント画像が再生されます。(S10:123)

3-4 NSR-S Viewer

- NSR-S Viewer で、"Output Video Clip"で音声記録された映像を出力する場合、音声を付けて出力するには、"Include audio"にチェックを入れて出力してください。
なお、MPEG4 出力の場合には"Include audio"のチェックボックスはなく、音声付の出力はできません。(S10:141)

3-5 WebViewer

- WebViewer は、WebViewer を起動している PC に AVI ファイル形式で映像を記録することができます。ただし、音声は記録されませんので、音声を確認する場合は NSR-S10 本体で記録を行ってください。(S10:74)

3-6 その他

- 構成データや Output Video Clip など、ファイルを読み書きする際、そのファイル名に以下の文字を使用すると、正常に終了したように見えてもファイルの読み書きに失敗していることがあります。ファイル名にこれらの文字を使用しないでください。(S10:124)

* ? > < ; & ! [] | ¥ ' " ` () { } + -

- WebViewerのPCへの録画機能や、NSR-S Viewerの"Output Video Clip"機能によりAVI形式のファイルを作成することができますが、ソニー製のカメラにWeb Browserで接続したことがあるPCの場合、そのPCのWindows Media PlayerでこのAVIファイルを再生すると、SNCVideo.dllのエラーが発生して再生できないことがあります。(S10:75)

その場合、以下のURLからSNCVideo.zipをdownloadして、このファイルを展開したフォルダにあるReadme.txtを参照の上、SNCVideo.dllを置き換えてください。

Download URL: <http://www.sony.co.jp/Products/NSR/SNCVideo.zip>

4 限定事項

4-1 V1.1.1 で修正された限定事項

- ・ フォーマットされていないハードディスクを本体に接続して起動したとき、「システム設定」の「ディスク管理」画面にそのハードディスクが表示されず、フォーマットや保存先としての追加が出来ない不具合を修正しました。(S10:177)

4-2 既知の限定事項

4-2-1 設定画面

- ・ 「アラーム設定」の E メール送信において、メールの宛先は必ず記入してください。宛先を記入せずに CC だけを指定するとメールが送信されません。(S10:102)
また「Detail」にある Snapshot は将来拡張用です。現時点では機能しません。(S10:47)
- ・ カメラで動体検知記録や動体検知をトリガーとしたアラーム記録を設定している場合、カメラが動体を検知している最中にカメラとのネットワーク接続が切れると、NSR-S10 が動体検知を誤認識して記録を行うことがあります。
ネットワーク接続が切れたカメラで動体検知記録あるいはアラーム記録が行われている場合には、記録を手動で停止してください。(S10:137)
- ・ 「ネットワーク設定」に”Remote Update Configuration”のポート設定の項目がありますが、リモートアップデートの機能は現状、対応していません。(S10:109)

4-2-2 メイン画面：LIVE

- ・ イベントログビューア内にある、“POS ビューア”は将来拡張用です。現在は機能しません。(S10:53)

4-2-3 メイン画面：PLAYBACK

- ・ [PLAYBACK] ボタンをクリックしたときに再生される記録画像の時刻は、「システム設定」の再生モードで指定します。再生モードで「前回のファイル再生」を指定した場合は、[PLAYBACK] ボタンをクリックすると、前回再生したファイルの画像が表示されます。(S10:122)
- ・ PLAYBACK 画面で逆再生を行うと MPEG-4 や H.264 の場合には I フレームのみの表示となるため、画面の更新周期が長くなります。また 2×2 画面の×1 や×2 の逆再生では、画面の更新が停止することがありますので、逆再生で確認する際には 1×1 画面を使用することをお勧めします。(S10:77)

4-2-4 WebViewer

- WebViewer は HTTP Proxy 経由の接続に対応していません。Internet Explorer の設定で Proxy 経由ではなく、直接接続するようにしてください。(S10:80)


4-2-5 その他

- フォーマットされていないハードディスクが本体に接続されているとき、USB デバイスが正しく認識されません。この場合、ハードディスクを取り外した状態にする、またはハードディスクをフォーマットをすると USB デバイスが認識されるようになります。(S10:178)
- キーボード配列には各国独自の配列が用意されていますが、本機の場合、英語配列 101/104 の USB キーボードのみに対応しています。各国独自の記号等は、英語配列 101/104 の範囲内でしか使えません。記号などの入力の際は、ソフトウェアキーボードをお使いください。(S10:48)

5 補足

5-1 NSR-S Viewerの操作方法

5-1-1 操作手順

1. NSR-S10 からエクスポートした画像が入った USB フラッシュメモリーを PC に挿入する。
2. USB フラッシュメモリーの”Backup”フォルダを PC にコピーする。
USB フラッシュメモリーから直接起動すると、ファイルが時刻選択画面に読み込まれない場合がありますので、PC にコピーしてご使用されることを推奨します。
3. ”Backup”フォルダの中にある  NSR-S Viewer_launcher.exe のアイコンをダブルクリックして NSR-S Viewer を起動する。
4. 「Video Playback Date/Time Selection」画面で記録画像を選択する。
5. NSR-S Viewer で映像の再生を行う。

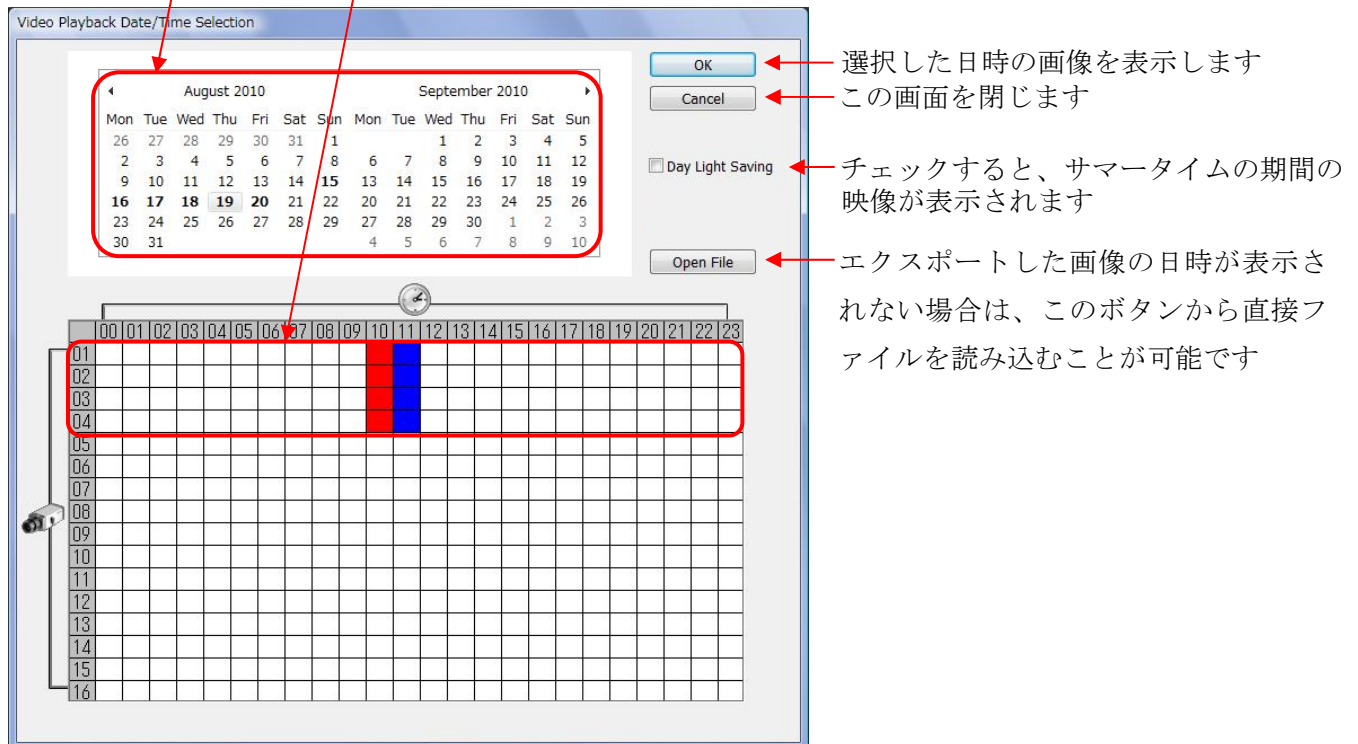
5-1-2 画面の説明

Video Playback Date/Time Selection 画面

日にちを選択します（映像のある日は太字で表示）

時刻を選択します（映像のある時刻は青で表示、クリックすると橙で表示）

横軸：時刻（00 時～23 時）、縦軸：カメラ番号



← 選択した日時の画像を表示します
 ← この画面を閉じます
☐ Day Light Saving ← チェックすると、サマータイムの期間の映像が表示されます
 ← エクスポートした画像の日時が表示されない場合は、このボタンから直接ファイルを読み込むことが可能です

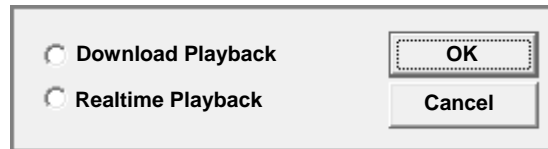
NSR-S Viewer 画面



5-1-3 WebViewerからの起動方法

NSR-S10 本体から、WebViewer を起動した PC に、NSR-S Viewer をダウンロードして、NSR-S10 本体に記録された映像を再生することができます。

WebViewer 画面の[PLAYBACK]をクリックすると、二種類の再生タイプの選択画面が表示されます。



ご注意

- WebViewer を使用する際には、重要事項 2-5 WebViewer を参照してください。
- NSR-S Viewer の NSR-S10 本体からのダウンロードには数十秒かかる場合があります。。

5-1-3-1 Realtime Playback

NSR-S10 本体に記録された映像をストリーミングで受信します。任意のカメラ、日時を選択して再生することができます。映像のエクスポートはできません。

5-1-3-2 Download Playback

NSR-S10 本体に記録された、一つのカメラの一つの時間帯の映像を PC にダウンロードして再生します。カメラと日時を選択すると 16 枚のサムネールが表示されますので、再生したい映像をクリックして赤枠で囲み、ダブルクリックして起動します。

巻戻し等の再生コントロールを行って In/Out 点を設定し、映像のエクスポートを行うことができます。

メモ

- Download Playback では、カメラや日時を切り替えて再生することはできませんので、最初に Realtime Playback で録画映像の確認を行い、映像のエクスポートが必要なときに Download Playback をお使いになることをお勧めします。

6 主な機能追加履歴

6-1 V1.1.0 で追加された機能

6-1-1 サポートカメラの拡充

以下のネットワークカメラに対応しました。

SNC-CH110, SNC-DH110, SNC-DH110T, SNC-DH210, SNC-DH210T,
SNC-CH220, SNC-DH220, SNC-DH220T, SNC-CH260, SNC-DH260

6-1-2 リモートプレイバック機能

WebViewer から NSR-S10 本体に記録された映像の再生を行えるようになりました。WebViewer 画面の [PLAYBACK] ボタンをクリックすると、NSR-S10 本体から PC に NSR-S Viewer をダウンロードします。NSR-S Viewer の使用方法は 5-1 NSR-S Viewer の操作方法を参照してください。

ご注意

- ・ WebViewer を使用する際には、重要事項 2-5 WebViewer を参照してください。
- ・ NSR-S Viewer の NSR-S10 本体からのダウンロードには数十秒かかる場合があります。

6-1-3 言語対応

中国語(繁体字)、韓国語、ポーランド語、(ブラジル)ポルトガル語をサポートしました。

6-1-4 外部ストレージの自動追加機能

ハードディスクを搭載していないモデルにおいて、NSR-S10 本体に外部ストレージを接続すると、自動で保存先として追加する機能に対応しました。

「システム設定」画面で [自動でハードディスクをストレージに追加する] にチェックを入れてお使いください。保存先として追加されると警告音が 30 秒間鳴ります。

<input type="checkbox"/> 次以降の録画データを削除 :	7	日
<input type="checkbox"/> 次以降のイベントとアラームログを削除 :	30	日
<input type="checkbox"/> 上書きを有効にします		
<input checked="" type="checkbox"/> 自動でハードディスクをストレージに追加する		

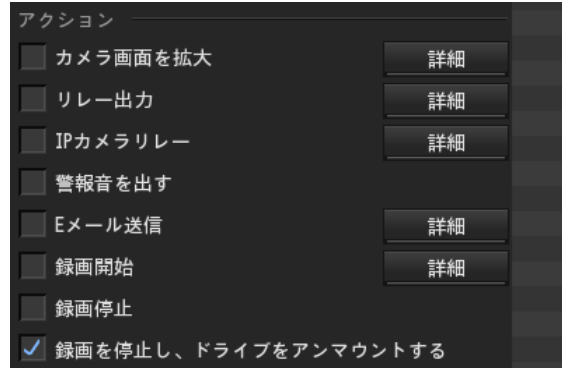
メモ

- ・ 外部ストレージが保存先に追加されて録画が開始されると警告音により認識することができますが、本体にモニターを繋がずにご使用される場合には、警告音だけではなく、本体前面の HDD LED の点滅表示により、データがディスクに書き込まれていることを確認することをお勧めします。

6-1-5 アラームアクションによる外部ストレージのアンマウント機能

ハードディスクを搭載していないモデルにおいて、「アラーム設定」のアクションにより、外部ストレージのアンマウントを行う機能に対応しました。

「アラーム設定」画面で「録画を停止し、ドライブをアンマウントする」にチェックを入れると、アラームのトリガーにより、ドライブをアンマウントします。ドライブをアンマウントすると警告音が 30 秒間鳴ります。



ご注意

- ・ハードディスク内蔵モデルでは、このアクションはお使いになれません。

6-1-6 Snapshotのイメージサイズ

PLAYBACK 画面の Snapshot において、800×x600 以外のサイズで静止画をキャプチャーできるようになりました。

- ・ 本体メイン画面：カメラの解像度と同じサイズでキャプチャーされます。
ただし、1920×1080 の場合は 1920×1088 となります。
- ・ Remote Playback：カメラの解像度が 800×600 以上の場合は、カメラの解像度と同じサイズでキャプチャーされます。800×600 以下の場合は、800×600 のサイズでキャプチャーされます。

7 主な修正履歴

7-1 V1.1.0 で修正された限定事項

- ・ カメラやレコーダーを再起動すると、カメラ側で行う動体検知の検知エリア、感度等の設定が初期設定に戻るという不具合を修正しました。(S10:59)
- ・ 本体背面の電源ボタンで、電源を切る際にパスワードの認証が必要でしたが、パスワード認証なしで本体の電源を切れるように修正しました。(S10:76)
- ・ 「Event Log」では、NSR-S10 本体のセンサー入力の Event のみが記録され、カメラのセンサー入力の Event が記録されず、「Event Search」でもカメラのセンサー入力の Event が検索できないという不具合がありました。この不具合を修正しました。(S10:83)
- ・ PLAYBACK 画面で、一時停止中に画面のレイアウトを 1×1、2×2 の切り替えを行うと、一時停止している時刻がずれるという不具合を修正しました。(S10:134)
- ・ 「アラーム設定」で IP カメラリレーを使ったアクションを設定した場合に、カメラリレーが 2 つ以上ある機種でリレーの On/Off が正常に実行されない不具合を修正しました。(S10:164)
- ・ 「ユーザー設定」の制御権限において、録画の権限がないユーザーを作成しても、「録画設定」の変更が行えるという不具合を修正しました。(S10:166)